

学力調査の結果のお知らせ

日ごろより、当校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年度を実施した2つの学力調査について、結果を報告します。

◇全国学力・学習状況調査（6年生対象）

調査は大きく分けて、学習状況を見る調査と、生活習慣や学習環境などを見るアンケート調査があります。

○教科に関する調査

【出題内容】下記(1)と(2)を一体的に問う。

- (1)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- (2)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査。

結果分析から見える成果と課題、今後の対策について以下に示します。

	木戸小	新潟県	全国	全国比
国語	67	66	65.6	+1.4
算数	63	62	63.2	-0.2
理科	65	63	63.3	+1.7

【本校児童の調査結果から】

国語	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく表記する。 ・文章校正書き表し方などに着目し、文章を整えて書く。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことや聞きたいことの中心を捉える。 ・立場や意図を明確にし、考えをまとめる。 ・登場人物の相互関係を捉える。 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの際には、伝えたいことや自分の意見との違いを考えながら聞く。（「木戸ベーシック」「聞き方あいうえお」を利用する） ・話し合いや、「話す・聞く」の活動の際に、課題をどうやって解決するのか考え表現させる。 ・短い時間で選び、理由を話す活動をする。 ・物語の読む力を育てるために、学年の指導事項の系統を踏まえて縦の指導を意識し表現させる。
算数	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法と乗法の混合した計算の求め方を解釈し、他の計算に生かす。 ・図形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述する。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に合った数の処理の仕方を考察する（概数に表して計算する） ・割合の計算 ・比例を利用した変化する量の求め方 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の具体的な場面に対応させながら、数の表し方の練習をする。 ・答えだけでなく、求めた過程を大切にする。考えをノートに順序だてて説明できるようにする。 ・身に回りから割合で表されているものを見つける調査的な活動や、事項の日常と割合を関連付けた活動を取り入れる。
理科	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の名前や使い方を正しく理解している。 ・問題解決までの道筋を構想し、考えをもつ。 <p>【課題が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察結果や自然の事物・現象から得た情報を分析・解釈し、自分の考えをもつ。 ・光の特徴 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験結果から言える共通点は何か、次の実験につなげるために、どのような課題が持てるか、を文章化する。 ・観察・実験などの方法を具体的に見通せるようにする。 ・様々な現象を組み合わせたり、関連付けたりして考える活動を行う。

児童質問紙調査から	<p>【成果が見られたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT を積極的に取り入れ、意見交換や考えを表現する際に活用している。 自分の決めたことを最後までやり遂げている。 友達と協力して活動したり、話し合ったりすることで自分の考えを深め、広げている。 学校生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を見つけている。 <p>【課題がみられたところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 携帯やスマートフォンで SNS や動画視聴などを長時間している割合が高い。 1 週間の中で全く読書をしない児童の割合が高い。 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した授業が定着してきている。自分の考えを表現するツールとして今後も積極的に取り入れていく。 道徳等で情報モラルについて学習し、正しく sns を利用できるようにする。 長時間、携帯やスマートフォンを利用することで起きる健康上の問題について、適宜指導していく。 読書週間、朝読書など本に親しむ活動をしているため、今後も継続していく。
-----------	--	--

◇NRT標準学力調査（2～6年）

4月に、2年生以上でNRTも実施しました。国語・算数とも平均以下の学年が昨年度より増えました。理科においては、実施した2学年とも平均以上となりましたが、社会においては平均以下の学年もあり、学年差のある結果となりました。個々の結果は、5月の個別懇談会で学級担任より渡してあります。

学年	国語	算数	社会	理科
2	47.6	47.4	/	
3	51.1	48.8		
4	53.3	52.0		
5	49.0	48.9	47.7	50.7
6	50.7	50.5	50.3	50.4

※偏差値は、小数第二位を四捨五入。全国の偏差値平均を「50」としています。

	課題	今後の取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 読解のスピードが遅い。 作文に書く内容を正しく選ぶこと。 語彙力の不足。 話し手の主張（伝えたいこと）を読みとること。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を決めて、問題に取り組みさせる。 作文を書く学習では、事前に文の組み立てを確認してから書くようにさせる。 辞書を活用したり、読書を行ったりして語彙力を高める。 話し手や書き手が最も伝えたいことを考えて聞いたり読んだりさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算のスピードが遅い。 問題場面に合う式を選択すること。 複数の作業を伴う問題が苦手である。 単位換算を正しくする。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を決めて、問題に取り組みさせる。 通年、ドリルやプリントでくり返し計算問題に取り組みさせる。 生活場面に当てはめて考える活動を行う。 式の意味を考えて立式させる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から情報を読み取ること。 方位や地方の名前、学習した用語などの定着。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の見方を普段の授業で指導する。 複数の資料を関連させる練習をする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 振り子について正しく理解する。 条件に合う内容を選択する。 自然の事物現象の特徴や規則性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 条件をそろえる意味を考えさせ、言葉で説明できるようにする。 結果をグラフ等で表現し、変化を読み取りやすくして、理解を深める。

これらの結果を受けて、今後の学習の方向性について職員研修を行いました。子どもたちの傾向を分析し、明らかになった課題については、定着が図られるように対応しています。また、全学年に共通した傾向から、上記のような取組を進めていきます。今後も木戸っ子に学ぶ意欲と課題を解決できる力を育てられるように、努めていきます。

文責 研究主任 丸山希美子